平成30年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月10日

上場会社名　大幸薬品株式会社　　上場取引所　東

コード番号　4574　ＵＲＬ　http://www.seirogan.co.jp

代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）柴田　高

問合せ先責任者　（役職名）専務取締役　（氏名）吉川　友貞　ＴＥＬ　06－4391－1123

四半期報告書提出予定日　平成29年11月10日　配当支払開始予定日　－

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無　：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成30年３月期第２四半期の連結業績（平成29年４月１日～平成29年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年３月期第２四半期	3,634	22.0	502	6.0	382	20.1	276	8.5
29年３月期第２四半期	2,980	△8.0	474	19.2	318	△21.3	254	106.2

（注）包括利益　30年３月期第２四半期　255百万円（66.6%）　29年３月期第２四半期　153百万円（29.3%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年３月期第２四半期	19.54	19.47
29年３月期第２四半期	18.91	18.73

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年３月期第２四半期	18,323	15,377	83.8
29年３月期	18,788	15,384	81.7

（参考）自己資本　30年３月期第２四半期　15,352百万円　29年３月期　15,357百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年３月期	－	0.00	－	20.00	20.00
30年３月期	－	0.00			
30年３月期（予想）			－	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．平成30年３月期の連結業績予想（平成29年４月１日～平成30年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	4.9	1,550	0.4	1,300	△7.6	900	△14.2	63.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年３月期２Ｑ	14,133,300株	29年３月期	14,120,600株
② 期末自己株式数	30年３月期２Ｑ	19株	29年３月期	19株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年３月期２Ｑ	14,126,814株	29年３月期２Ｑ	13,453,431株

※　四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間の売上高は、医薬品事業、感染管理事業ともに増収となったことから、対前年同期比22.0%増の3,634百万円となりました。売上総利益につきましては、増収等から、対前年同期比19.5%増の2,455百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費につきましては、医薬品事業を中心に広告宣伝及び販売促進を強化したこと等により、対前年同期比23.5%増の1,952百万円となりました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間につきまして、営業利益は対前年同期比6.0%増の502百万円となり、経常利益は、為替差損の減少や新工場における未稼働設備関連費用を計上したこと等から、382百万円（対前年同期比20.1%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、当第２四半期連結累計期間は新工場に関する補助金収入を計上した一方で、前年同期は新株予約権戻入益を計上したこと等から、276百万円（対前年同期比8.5%増）となりました。

セグメント別の業績につきましては以下の通りであります。

（医薬品事業）

医薬品事業につきましては、対前年同期比17.8%増の2,641百万円の売上高となりました。

国内向けの売上高につきましては、前年同期は高水準にあった流通在庫が当期首においては正常化しており、当社からの出荷が増加したことに加え、新製品「正露丸クイックＣ」も増収に寄与したこと等から、対前年同期比で増加となりました。

海外向けの売上高につきましては、対前年同期比で増加となりました。中国市場向けは、前期が第４四半期連結会計期間に出荷が集中した一方で、当期は当第２四半期連結会計期間より出荷があったことや、台湾市場向けは出荷時期の前倒しがあったこと等が主要因となります。

セグメント損益につきましては、新製品「正露丸クイックＣ」のTVCMを中心とした広告宣伝費及び販売促進費の増加を、増収等が吸収し、対前年同期比3.6%増の1,007百万円の利益となりました。

（感染管理事業）

感染管理事業につきましては、対前年同期比34.3%増の979百万円の売上高となりました。

一般用製品の売上高につきましては、既存製品が堅調なことに加え、新製品「クレベリン×ベアブリック ディズニーキャラクターデザイン」の出荷が増収に寄与したこと等から、対前年同期比で増加となりました。

業務用製品の売上高につきましては、株式会社デンソーと共同開発した「クレベリンカートリッジ（車両用）」が好調に推移したこと等から、対前年同期比で増加となりました。

セグメント損益につきましては、増収等により、対前年同期比88.4%増の67百万円の利益となりました。

（その他事業）

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は対前年同期比76.8%増の14百万円となり、セグメント損益につきましては、７百万円の損失（前年同期は10百万円の損失）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①財政状態

当第２四半期連結会計期間末における資産合計は18,323百万円（前連結会計年度末比465百万円減）となりました。負債合計は2,945百万円（同458百万円減）、純資産合計は15,377百万円（同６百万円減）となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は、現金及び預金の減少等による流動資産358百万円の減少、未払法人税等、その他に含まれる未払消費税等の減少等による流動負債481百万円の減少等であります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末から2.1ポイント上昇し83.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）が前連結会計年度末より1,589百万円減少し、当第２四半期連結会計期間末残高は、5,213百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は1,228百万円（前年同期は112百万円の獲得）となりました。主に売上債権の増加額943百万円、法人税等の支払額319百万円、たな卸資産の増加額276百万円、未払又は未収消費税等の増減額251百万円等の資金減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は65百万円（前年同期は330百万円の使用）となりました。主に有形固定資産の取得による支出74百万円等の資金減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は269百万円（前年同期は1,056百万円の獲得）となりました。主に配当金の支払額282百万円等の資金減少によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年３月期の通期連結業績予想につきましては、平成29年５月12日に公表致しました予想値から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成29年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成29年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,803,006	5,213,775
受取手形及び売掛金	1,820,749	2,742,362
商品及び製品	693,574	912,954
仕掛品	482,406	488,672
原材料及び貯蔵品	209,162	259,476
その他	279,233	320,650
貸倒引当金	△12,500	△20,500
流動資産合計	10,275,632	9,917,391
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,434,547	3,347,029
機械装置及び運搬具（純額）	637,082	608,174
土地	2,108,947	2,108,947
建設仮勘定	1,632,434	1,612,711
その他（純額）	262,670	279,937
有形固定資産合計	8,075,681	7,956,800
無形固定資産	47,491	52,114
投資その他の資産	390,066	397,422
固定資産合計	8,513,239	8,406,337
資産合計	18,788,871	18,323,728
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	302,345	622,648
未払金	735,904	676,175
未払法人税等	361,123	95,605
返品調整引当金	129,000	142,000
賞与引当金	193,618	53,842
役員賞与引当金	56,104	－
その他	458,712	164,831
流動負債合計	2,236,808	1,755,103
固定負債		
長期未払金	562,700	562,700
退職給付に係る負債	581,863	606,519
その他	22,901	21,556
固定負債合計	1,167,465	1,190,776
負債合計	3,404,274	2,945,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	581,146	592,196
資本剰余金	787,535	798,585
利益剰余金	13,850,369	13,844,065
自己株式	△21	△21
株主資本合計	15,219,029	15,234,826
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	138,911	117,820
その他の包括利益累計額合計	138,911	117,820
新株予約権	26,656	25,201
純資産合計	15,384,597	15,377,848
負債純資産合計	18,788,871	18,323,728

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成29年４月１日 至　平成29年９月30日）
売上高	2,980,270	3,634,814
売上原価	946,678	1,166,296
売上総利益	2,033,591	2,468,517
返品調整引当金戻入額	119,000	129,000
返品調整引当金繰入額	97,000	142,000
差引売上総利益	2,055,591	2,455,517
販売費及び一般管理費	1,581,163	1,952,693
営業利益	474,428	502,823
営業外収益		
受取利息	1,014	681
受取賃貸料	9,629	9,605
その他	2,354	1,851
営業外収益合計	12,998	12,138
営業外費用		
為替差損	38,720	4,244
賃貸費用	3,226	2,340
未稼働設備関連費用	123,014	124,289
その他	3,779	1,373
営業外費用合計	168,740	132,248
経常利益	318,685	382,713
特別利益		
新株予約権戻入益	32,894	－
補助金収入	－	19,270
特別利益合計	32,894	19,270
特別損失		
固定資産除却損	1,499	－
特別損失合計	1,499	－
税金等調整前四半期純利益	350,081	401,983
法人税、住民税及び事業税	70,151	79,886
法人税等調整額	25,530	45,989
法人税等合計	95,682	125,876
四半期純利益	254,398	276,107
親会社株主に帰属する四半期純利益	254,398	276,107

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成29年４月１日 至　平成29年９月30日）
四半期純利益	254,398	276,107
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△101,296	△21,090
その他の包括利益合計	△101,296	△21,090
四半期包括利益	153,101	255,016
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,101	255,016
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成29年４月１日 至　平成29年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	350,081	401,983
減価償却費	217,569	222,633
固定資産除却損	1,499	－
補助金収入	－	△19,270
新株予約権戻入益	△32,894	－
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	12,590	24,655
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△22,000	13,000
賞与引当金の増減額（△は減少）	△24,233	△139,734
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	－	△56,104
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2,000	8,000
受取利息及び受取配当金	△1,017	△683
為替差損益（△は益）	19,642	△159
売上債権の増減額（△は増加）	△46,897	△943,993
たな卸資産の増減額（△は増加）	△153,349	△276,264
仕入債務の増減額（△は減少）	234,109	334,079
未払金の増減額（△は減少）	△415,347	△60,734
未払又は未収消費税等の増減額	335,953	△251,769
その他	△152,953	△165,643
小計	324,752	△910,004
利息及び配当金の受取額	673	676
法人税等の支払額	△213,394	△319,456
営業活動によるキャッシュ・フロー	112,032	△1,228,784
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△203,086	－
有形固定資産の取得による支出	△72,383	△74,688
無形固定資産の取得による支出	△4,729	△10,347
投資有価証券の取得による支出	△50,000	－
補助金の受取額	－	19,270
その他	－	228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△330,199	△65,537
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△7,409	△8,035
配当金の支払額	△195,364	△282,277
新株予約権の行使による株式の発行による収入	44,786	20,646
自己株式の処分による収入	1,214,173	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,056,187	△269,666
現金及び現金同等物に係る換算差額	△127,151	△25,242
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	710,868	△1,589,230
現金及び現金同等物の期首残高	2,996,814	6,803,006
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,707,683	5,213,775

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成28年４月１日　至　平成28年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額 （注）１	四半期連結損益計算書計上額 （注）２
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,242,961	729,221	8,086	2,980,270	－	2,980,270
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	2,242,961	729,221	8,086	2,980,270	－	2,980,270
セグメント利益又はセグメント損失（△）	972,918	36,054	△10,684	998,288	△523,860	474,428

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成29年４月１日　至　平成29年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額 （注）１	四半期連結損益計算書計上額 （注）２
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,641,258	979,255	14,300	3,634,814	－	3,634,814
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	2,641,258	979,255	14,300	3,634,814	－	3,634,814
セグメント利益又はセグメント損失（△）	1,007,863	67,944	△7,724	1,068,082	△565,258	502,823

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。